

桜島と錦江湾が一望できる旧サンピア始良跡地約 11,000 坪に加治木温泉病院を新築移転する計画。始良市市民病院的な機能を担い、24 時間、365 日対応の医療・介護・福祉サービスを提供。地域包括ケアシステムの構築と災害時の拠点機能を兼ね備えた複合施設を目指す。

## 概要

所在地：鹿児島県始良市東餅田 1 1 8 1

(JR 帖佐駅より徒歩 15 分)

敷地面積：36,348.96 m<sup>2</sup> (11,014 坪)

コンセプト：①コンパクトシティ、②健康寿命延伸、  
③トータルヘルスケア、④メディカルツーリズム、  
⑤フィットネス、温浴施設、レストラン、カフェ 等

まち・ひと・しごと創生

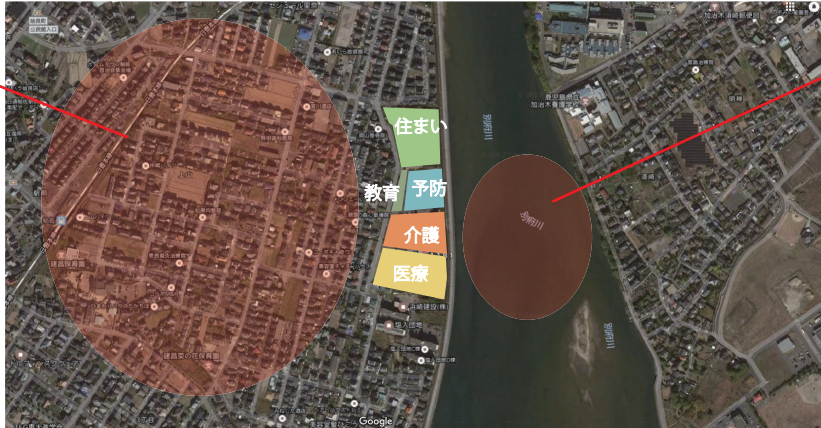
始良型モデル  
JOYタウン構想



## 立地

始良市は鹿児島市街地と鹿児島空港、霧島市のほぼ中心に位置し、観光拠点としてポテンシャルが高い。

計画地の西側は住宅街になっており、近隣住民が利用できるような機能が求められる。南側の方向に桜島がある。



東側が川に面した計画地。南側が海になっているため、災害時の機能も考慮する必要がある。

## 内容

◎地域特性：まちなか型

◎事業主体（コミュニティの特徴）：医療法人  
病院を基盤にしたまちづくり

◎地域的広がり：エリア型

新病院のほか、介護、予防、教育、住まい、交流スペースなどの機能を一体的に整備。一般の方や障害者の方が住めるよう整備も検討

◎住み替えパターン：広域移住型

鹿児島県外に出た人のUターン、地域住民をメインターゲット

◎推進主体・住民

- ・医療法人玉昌会（2 病院の運営と在宅サービス事業を実施）
- ・始良市は平成 22 年度に加治木町、始良町、蒲生町が合併。平成 27 年 6 月現在の人口は約 76,000 人。
- ・始良市のコンパクトシティ化の一翼を担う構想。
- ・地域の中で、多職種・多世代、住民同士が互いに支えながら、住み慣れた地域でその人らしく暮らせる環境を支える仕組み。（ヒューマンライフラインの構築）
- ・災害時の対応（隣県からの避難者の可能性）も想定した計画、警察・消防以外でいざというときに 24 時間かけこんでくってもらえる拠点とする

### ◎住まい・まちづくり

- ・厚生年金福祉施設サンピアあいらの跡地（約 12,000 坪）を利用し、病院を建て替える計画。
- ・残っているホテルの活用
- ・鹿児島空港から車で 15 分、鹿児島市街地まで車で 30 分

### ◎活動

- ・予防医療や介護以外のアクティビティを今後検討。
- ・誰でも利用できる図書室やカフェを通じた交流機会の創出など。

### ◎ケア

- ・医療エリアでは、慢性期を中心に、急性期から在宅ケアまで持続したケアを実現。
- ・医療介護支援・地域包括ケアサポートなど総合的な相談室の設置。

### ・JOY タウン構想のモデル『複合施設おはな』

有料老人ホームである、しあわせの杜・ケアレジデンス「おはな」は、「通い、訪問、泊まりと医療系サービス」が包括的に提供できる“複合施設”を形成しており、同じ建物内の 1 階に、居宅支援事業所、訪問介護ステーション、訪問看護ステーション、通所介護施設が併設されており、緊密な連携のもとに、サービスが提供されている。



↑分棟配置による計画。

↑中央にあるウッドデッキが各棟をつないでいる。

### ・感想

JOY タウンの立地は、住宅街の中の立地になるため、地域の人になじみやすくなる可能性がある反面、外部の人が訪れにくくなる可能性があると考えます。また、高齢者がこの土地でどのように暮らしていくのかというプログラムも必要だと考えます。現状の案では、高齢者は JOY タウン内の医療・介護サービスや娯楽施設を利用するという面しか考慮されていないように感じ、施設内や周辺住民とのコミュニティがどのように作られるのかがイメージできません。

まだ構想の段階だが、施設内で生活が完結するのでなく、地域に開かれた施設になってほしいと思う。